

無電柱化の推進に関する法整備を求める意見書

地域住民の生活環境の改善や地域の活性化を図るため、とりわけ防災性の向上、安全で快適な通行空間の確保、良好な景観の形成及び観光振興等の観点から、無電柱化の取組を計画的かつ円滑に進めることはとても重要である。

しかしながら、欧米はおろかアジアの主要都市と比較しても、我が国の無電柱化割合は著しく低く、近年異常気象等の災害による電柱の倒壊に伴う救援救助等への影響や、いたましい通学児童の交通事故、急激なインバウンド効果による海外観光客の増加などから、無電柱化に対する地域の要望は極めて強いものとなっている。

よって、国会におかれては、災害の防止、安全で円滑な交通の確保及び良好な景観の形成等を図るため、無電柱化の推進に関し、基本理念、責務及び推進計画の策定等を定めることにより、施策を総合的、計画的かつ迅速に推進し、公共の福祉の確保、生活の向上及び地域経済の健全な発展に貢献する無電柱化の推進に関する法律案の早期成立を強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

平成28年7月1日

衆議院議長 大島 理森 殿

参議院議長 山崎 正昭 殿

鹿児島県霧島市議会